

誕生



生涯にわたるサポート

(サポートされる側からサポートする側へ)

*【…期】という発達の区分の仕方は様々です。下の発達の区分は一例です。



世界にたった一つしかない、かけがえのない「たからもの手帳」

生まれてきてくれて、ありがとう。

様々な不安がおとずれることがあります。どんな困難に会おうとも、いつも「たからもの(持ち味)」を見失わないでください。

【乳幼児期】
(0～6歳)

【児童期】
(6～12歳)

【青年前期】
(12～18歳)

【青年後期】
(18～24歳)

【成年期】
(24～35歳)

【壮年期】
(35～60歳)

【老年期】
(60歳～)

生涯にわたって

「持ち味」をみつける

「持ち味」を自覚

「持ち味」を伸ばす

「持ち味」が「自分らしさ」に

今度は、サポートする側へ(「持ち味」を見つけ、伸ばす)

成長するために、誰もが通る道です。

ギャングエイジ(主に児童期中頃)
・活動的になり、じっとしてられない。
・いろんなことに興味を持ち、挑戦する。同時に、多くの失敗も経験する。
・他人を意識しはじめ、仲間との関わりが増える。これに伴い、衝突も経験し、相手のことを考えることを学び始める。

思春期(主に青年前期頃)
・性差を含め、身体の変化を意識する。
・異性や仲間を意識し、関わり方に神経を使うようになる。うまくいかない時は精神的に落ち込む。
・他者と自分を比べることが多くなり、自信をなくすことがある。

成長する上での大きな壁です。「持ち味」は、「自分らしさ」となり、この壁を乗り越えるエネルギーとなります。

時期には個人差があります。